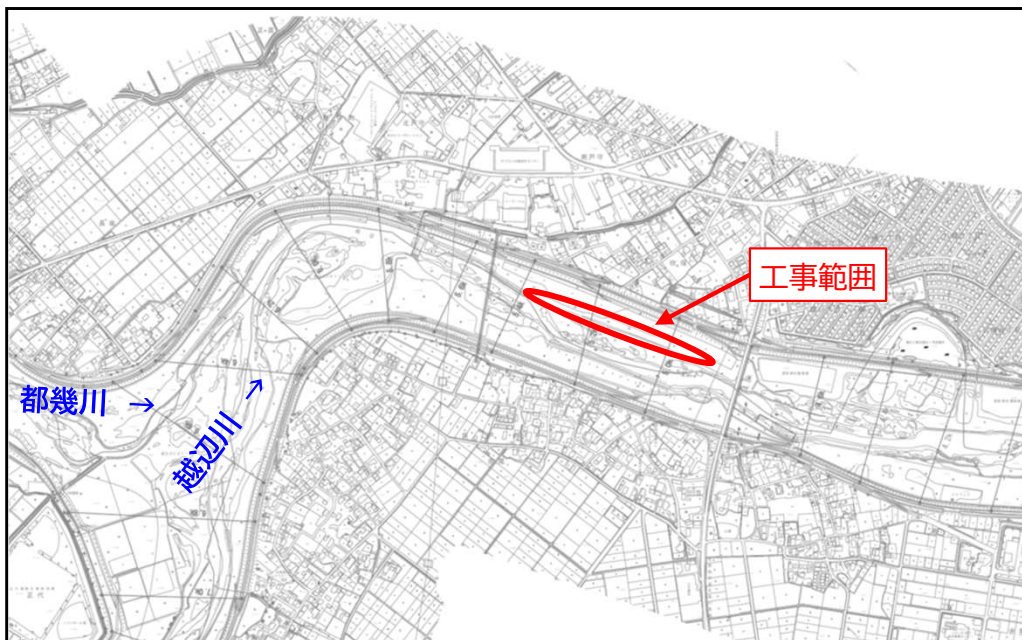


斜め写真

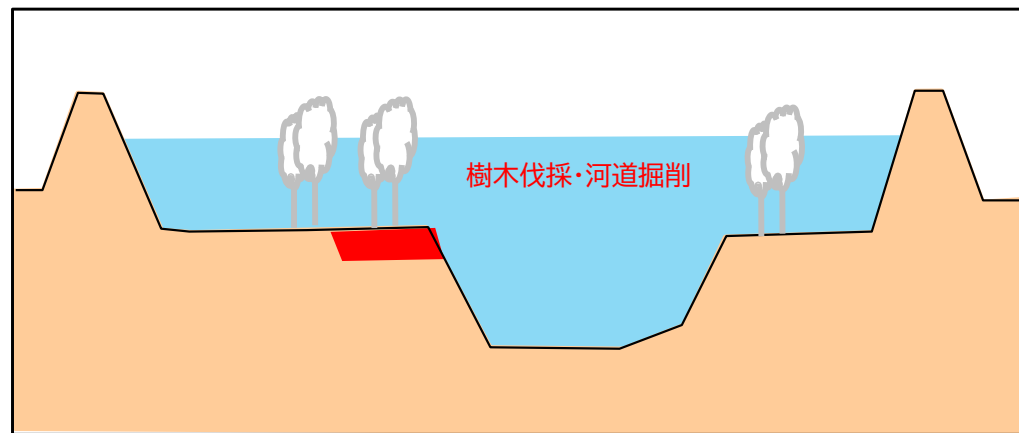


○着 手:令和4年7月
○完了予定:令和5年3月末

平面図



標準断面図



凡例

■ 工事範囲

工事の目的

流下能力向上を目的に、樹木伐採・河道掘削を実施します。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 天神橋上空より上流方向全景



写真② 上流上空より下流方向全景

主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に樹林地と草地、堤防を中心に構成されています。
- ・樹林地は主にアカメヤナギが優占する落葉広葉樹林やマダケ林などの竹林があり、ミコシガヤや重要種(植物)、キツネなどの哺乳類、チョウトンボといった昆虫類が確認されています。
- ・草地は河岸のツルヨシ群落、高水敷のオギ群落や堤防のセイバンモロコシ群落、採草地となっている人工草地で構成され、人工草地は夏期にアレチウリの繁茂がみられます。動物では、ホオジロやウグイス、ヒメナガメなどが確認されている。高水敷の草地、林縁付近などでは重要種(植物)が確認されており、調査範囲周辺の樹林地では、重要種(鳥類)が確認されています。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・高水敷に広がるアレチウリ群落などの外来植物群落は、地盤を切り下げることで、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待します。重要種(鳥類)については、生息状況を踏まえて対応を検討します。